

# GRI インデックス

グローバル・レポーティング・イ  
ニシアティヴ (GRI) スタANDARD

# スタンダード・コンテンツ索引

TI は、グローバル・レポートिंग・イニシアティブ (GRI) のサステナビリティ・レポートिंग・スタンダード (GRI スタンダード) に従っています。次の表に、GRI ガイダンスに基づく一般標準開示項目と特定標準開示項目の索引を示します。指標は、TI のそのステークホルダーに関連があり重要な情報を共有するために、簡潔で標準化された手段を提供します。



指標	項目	場所
102-1	組織の名称	Texas Instruments Incorporated (NASDAQ:TXN)
102-2	活動、ブランド、製品およびサービス	詳細については、TI の <a href="#">SEC Form 10-K, Part I, pages 2-4 (英語)</a> をご覧ください。
102-3	本社所在地	TI の本社住所は、12500 TI Boulevard, Dallas, Texas 75243です。
102-4	事業所所在地	TI の主要拠点を表示するには、 <a href="#">こちら</a> をご覧ください。
102-5	所有形態や法人格の形態	詳細については、TI の <a href="#">SEC Form 10-K, Part I (英語)</a> をご覧ください。
102-6	参入市場	詳細については、TI の <a href="#">SEC Form 10-K, Part I, pages 5-7 (英語)</a> をご覧ください。
102-7	組織の規模	2017年12月31日の時点で、TI は 29,714 人の従業員を雇用し、世界 30 か国以上に製造、設計、および販売拠点を持っていました。TI は数十万の製品を販売し、149.6 億ドルの売上を計上しました。(SEC Form 10-K, Part I, Item 1, pages 2, 9; Item 2, page 14) (英語)
102-8	従業員と他の労働者に関する情報	TI を構成する組織の詳細については、 <a href="#">Employees (英語)</a> をご覧ください。
102-9	サプライ・チェーン	詳細については、TI の <a href="#">Supply chain management (英語)</a> をご覧ください。

# スタンダード・コンテンツ索引

指標	項目	場所
102-10	組織とそのサプライ・チェーンに対する重大な変更	TI は、アナログおよび組込みプロセッシングという2つのビジネス・セグメントにおいて、2017年1月にプロダクト・ラインの組織変更を行いました。お客様によりわかりやすい製品カテゴリごとの組織にするのが目的です。アナログは、次の3種類の主要製品で構成されています。電源、シグナル・チェーン、HVAL (High Volume Analog and Logic、汎用アナログとロジック)。組込みプロセッシングは、次の2種類の主要製品で構成されています。コネクティビティ・マイコンとプロセッサ。TI は 2017 年中に、組織の規模、所有形態またはサプライチェーンに関して重大な変更を加えませんでした。2017 年、売上高は 12% 増加しました。詳細については、TI の <a href="#">SEC Form 10-K</a> をご覧ください。
102-11	予防的原則またはアプローチ	TI は事業の多くの分野で予防的原則について考慮しています。たとえば、化学物質および材料の積極的なスクリーニング・プロセスにより、解明されていない危険性や制御されていない危険性を含む可能性のある材料を使用していないことを保証しています。
102-12	外部向けの活動	TI の外部向け活動の詳細については、 <a href="#">Voluntary standards (英語)</a> をご覧ください。
102-13	業界団体への参加	TI は、さまざまな政策を目的として活動する、多数の団体に所属しています。TI は特定の団体において他の団体内より活発に活動しており、すべての団体のあらゆる事項に関して活動しているわけではありません。また、すべての考えに賛同していない場合もあります。また、TI は他の外部グループや団体との提携を通して、成長を加速し競争力を高め、自社のステークホルダー、お客様、従業員、およびコミュニティを支援する政策を推進しています。
102-14	上級意思決定者の声明	TI のコミットメントについては、TI の <a href="#">Executive statement (英語)</a> をお読みください。
102-16	価値、理念および行動基準・規範	TI が最初のエシックス・ガイドを公開したのは 1961 年です。それ以来、業務遂行における強力な倫理基準の土台となっています。2015 年に、TI は <a href="#">行動規範</a> を更新しました。この結果、TI の業務遂行方法を決定する中核的な価値である誠実、革新、コミットメントをさらに強固なものにすることができました。全従業員は、この規範に関するトレーニングを修了し、認定を獲得しなくてはなりません。
102-18	ガバナンス構造	TI のガバナンスについては、 <a href="#">Governance (英語)</a> をご覧ください。
102-40	ステークホルダー・グループの一覧	TI のステークホルダーには、従業員、お客様、株主、TI の拠点があるコミュニティ、研究機関、公務員、業界団体、監督機関、非政府組織、アナリスト、投資家、サプライヤ、請負業者、TI の退職者、および将来の従業員が含まれますが、これらに限定されません。
102-41	団体交渉協定	世界各地で活動する TI の全従業員には、常に、各国の法で認められている結社の自由や団体交渉の権利が認められています。したがって、TI はこれらの協定に参加している従業員の割合を追跡していません。
102-42	ステークホルダーの識別と選択	直接的な影響を及ぼすステークホルダー、または TI の業務に関心を持つステークホルダーとの関わりを維持しています。ステークホルダーとの関わりについては、 <a href="#">Stakeholder engagement (英語)</a> をご覧ください。
102-43	ステークホルダーとの関わりに対するアプローチ方法	2017 年、TI とそのステークホルダーにとって最も重要な環境、社会、ガバナンスのテーマを特定し深く理解するために、TI は正式なステークホルダー評価を実施しました。この評価の中には、世界的なピア・ベンチマーキングと、マネージャーや従業員、サプライヤ、顧客、コミュニティのリーダー、投資家、業界団体への調査が含まれています。ステークホルダーとの関わりについては、 <a href="#">Stakeholder engagement (英語)</a> をご覧ください。

# スタンダード・コンテンツ索引

指標	項目	場所
102-44	提起された重要なテーマと懸案	2017年のステークホルダーとの関わりを通じて、いくつかの関心分野を識別しました。該当するのは、サプライヤ管理、労働、人権、環境の各領域でのサプライヤとTIの慣行、紛争鉱物、エシックスとコンプライアンス、水とエネルギーの使用、大気の高品質と排出物、気候変動、情報保護とプライバシー、製品の革新、多様性と包括性、事業と供給の継続性、重大な異常気象です。
102-45	連結財務諸表に掲載されている事業体	TIには、アナログと組み込みプロセッシングの2つの報告対象となるセグメントがあります。TIの残りの事業活動の実績については、「Other」(その他)で報告しています。(SEC Form 10-K, Part I, Item 1, page 2-4). (英語) このレポートでは、財務諸表に含まれるすべての事業体についてのシティズンシップに関するトピックを扱っています。
102-46	報告書の内容およびテーマの確定	本レポートの主な内容を決定するために、TIは隔年でステークホルダーを正式に評価し、TIのCitizenship Steering Team (シティズンシップ運営チーム)と協議しています。TIのアプローチの詳細については、 <a href="#">Stakeholder engagement (英語)</a> をご覧ください。
102-47	資料のテーマ一覧	資料のテーマ一覧については、 <a href="#">Stakeholder engagement (英語)</a> をご覧ください。
102-48	情報の注釈	情報に関するあらゆる注釈は、特定の業績データ表の下にある脚注で記載しています。
102-49	レポートの変更点	TIは、GRIのG4ガイドラインから、GRIスタンダードに切り替えました。それ以外の変更は行っていません。
102-50	報告期間	報告期間は、2017暦年全体を対象にしています。
102-51	最新の発行済報告書の日付	TIの2016年報告書は、2017年5月に公開しました。
102-52	報告サイクル	TIは年ごとにシティズンシップ・レポートを公開します。
102-53	報告書に関する質問の窓口	TIまたは本レポートのシティズンシップについてのご質問は、 <a href="mailto:citizenshipfeedback@list.ti.com">citizenshipfeedback@list.ti.com</a> 宛にEメールでお問い合わせください。
102-54	GRIスタンダードに従った報告書の主張	この報告書は、GRIスタンダードに従って準備したものです。中核(Core)オプション。
102-55	GRI内容索引	GRIスタンダードに対するTIの整合性の詳細については、TIのGRI Index (GRI索引) (英語)をご覧ください。
102-56	外部機関による保証	現在、TIはこのレポートに対する第三者からの保証を求めています。

## 経済的パフォーマンス

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TIの経営陣のアプローチの詳細については、 <a href="#">About TI (英語)</a> と <a href="#">Who We Are (英語)</a> をご覧ください。TIの業績の詳細については、TIの <a href="#">SEC Form 10-K (英語)</a> をご覧ください。
201-1	創出、分配した直接的経済価値	TIの年次報告で経済的パフォーマンスに関する情報を提供しています。TIの慈善活動への寄付については、 <a href="#">Community (英語)</a> をご覧ください。
201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	TIは、広範なリスクとしての気候変動に起因する財務上の潜在的影響を数値化する意図はありません。TIは、拠点に関連するリスク(過酷な気象条件や干ばつなど)を評価し、事業や環境に及ぼす影響を低減するために必要とされる制御手段を実現します。

# スタンダード・コンテンツ索引

## 経済的パフォーマンス (続き)

指標	項目	場所
201-3	確定給付型年金制度とその他の退職金制度	TIには、確定拠出、確定給付、退職者医療給付制度などのさまざまな退職金制度があります。これらの制度に対するTIの拠出額は、資金積み立てに関するすべての最低要件を満たすか、それらを上回っています。 <a href="#">SEC Form 10-K, Item 10, page 48: 退職者給付制度</a>
201-4	政府から受けた財務援助	TIは世界各地の連邦、州、および地方政府から税制上の優遇措置によるインセンティブを受けました。それらのインセンティブは、装置や設備、雇用、研究開発に投資している製造会社に一般的に提供されているものです。詳細については、 <a href="#">SEC Form 10-K Part II, Item 8, Note 6, pages 42-44 (英語)</a> と tax policy (税務政策) をご覧ください。

## 市場でのプレゼンス

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TIのマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Our employees (英語)</a> をご覧ください。
202-1	地域最低賃金に対する標準最低給与の比率 (男女別)	TIはすべての国で標準的な入社時賃金を維持してはおりませんが、操業するすべての国で現地の最低賃金を超える金額を従業員に支払っていることを確認済みです。TIは、性別、人種、民族など保護される特徴に関係なく、業務に関連する正当な要因に基づいて各従業員に報酬を支払っています。
202-2	地域採用者の上級管理職の比率	TIの方針は、弊社で働こうとする、最も優秀な個人を雇用することです。全世界ではTIの上級管理者の99%が、TIが操業しているコミュニティの出身です。

## 調達

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TIのマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Supply chain management (英語)</a> をご覧ください。
204-2*	米国におけるマイノリティ / 女性所有の事業体への支出の比率。	TIの支出比率は6.4%です。

# スタンダード・コンテンツ索引

## 腐敗防止

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI の腐敗防止の方針の詳細については、TI サイトの <a href="#">Ethics (英語)</a> と、TI の <a href="#">行動規範</a> をご覧ください。
205-1	腐敗のリスクに関する事業拠点の評価	腐敗に関するリスクについて、世界中にある事業拠点すべてを評価しています。
205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションとトレーニング	TI は、腐敗防止のレッスンも含め、エシックスとコンプライアンスの啓発トレーニングをすべての従業員に対して実施し、99.9% がこれらのトレーニングを完了しました。また、TI は 2017 年に汚職防止と記録改ざんに関する社内のポリシーを更新しました。TI は腐敗防止に関する多数のツールを使用して、第三者とベンダのトレーニングを実施しています。さらに、TI の従業員と派遣社員に対して、定期的な社内ニュースの記事を通じて継続的に注意喚起を行っています。
205-3	確認された腐敗の事例、および実施した措置	腐敗に関する申し立てがあった場合、TI は状況を調査して適切に解決するための行動を起こし、適切に資料や、裏付けのある事案を開示します。

## 反競争的行為

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Ethics (英語)</a> をご覧ください。
206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行に対する法的措置	TI が関与する法的手続きの資料は、 <a href="#">SEC Form 10-K, page 15. (英語)</a> をご覧ください。

## 原材料

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Materials management (英語)</a> をご覧ください。
301-2	リサイクル済み受け入れ資材の使用状況	弊社の製品を製造するために必要とされる購入原材料の大半は化学物質です。半導体の処理に使用する化学物質のほとんどは高純度であることが必要ですが、一部の自社施設では酸化スラリーを回収して再利用しています。可能な場合、プロセスで廃棄物の酸も収集し、除外装置で再利用しています。建設プロジェクトでは、リサイクル製品を含む材料を優先しています。ただし、現時点ではそれらのプロジェクト向けに購入したリサイクル済み物質の総量を追跡していません。

# スタンダード・コンテンツ索引

## 原材料(続き)

指標	項目	場所
301-3	リサイクルした製品とパッケージの原材料	TIは現時点で、お客様またはエンド・ユーザーによって回収される製品のパーセンテージを特定できません。TIの教育用テクノロジーは、さまざまなリサイクル・プログラムに参加しています。お客様が自社製品に取り付けた半導体製品をどのように扱うか、また製品寿命の問題にどのように取り組むかを、TIが管理することはできませんが、弊社は部品で使用されている物質に関する詳細な情報を提供しており、お客様は寿命到来後の廃棄に関して、情報に基づく決定を下すことができます。

## エネルギー

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TIのマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Energy use (英語)</a> をご覧ください。
302-1	社内のエネルギー消費量	エネルギー消費量のデータについては、TIの <a href="#">Energy consumption (英語)</a> をご覧ください。TIは、社外へのエネルギー販売を実施していません。
302-3	エネルギー原単位	TIのエネルギー原単位比率は0.38です。分子はTI社内で消費したエネルギー、分母はTI社内で製造したチップの数です。次に、2005 = 1とし、この比率を正規化した値として報告します。
302-4	エネルギー消費量の削減	<a href="#">エネルギー節減による節約</a> は、電気、天然ガス、熱の節減プロジェクトをベースにしています。計算のベースとなるのは、各プロジェクトに関する年間の節減量推定値であり、年間の節減量推定値すべての総和を合計として報告します。
302-5	製品およびサービスのエネルギー所要量の削減	製造した1個のチップを動作させるために必要なエネルギーは、年間わずか時間当たり0.15ワットです。また、TIは製品のエネルギー使用量を節減する活動にも取り組んでおり、多くの場合、同等の機能を実行する新規設計を実装した場合、以前の設計より7%の節減を達成することができます。

## 水

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TIのマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Water and wastewater (英語)</a> をご覧ください。
303-1	水源別の取水量	排出量データについては、TIの <a href="#">Wastewater (英語)</a> をご覧ください。
303-2	取水によって著しい影響を受ける水源	私たちが認識している範囲で、TIの事業による水源への悪影響は何もありません。
303-3	水のリサイクルと再利用	TIの水再利用データの詳細については、 <a href="#">Water reused (英語)</a> をご覧ください。
304-1	生物多様性	生物多様性に関するTIの取り組みの詳細については、 <a href="#">Biodiversity (英語)</a> をご覧ください。

# スタンダード・コンテンツ索引

排出		
指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Air emissions (英語)</a> と <a href="#">Climate change (英語)</a> をご覧ください。
305-1	間接的 (スコープ 1) GHG 排出	Direct (scope 1) <a href="#">emissions (total) (英語)</a> をご覧ください。計算に含めた気体は、二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )、メタン (CH <sub>4</sub> )、二酸化窒素 (N <sub>2</sub> O)、ハイドロフルオロカーボン (HFC)、PFC (パーフルオロカーボン)、六フッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )、三フッ化窒素 (NF <sub>3</sub> ) です。TI は、生物由来の排出物を生成していません。TI は、2015 年をベースラインとし、2020 年をターゲットとした GHG の削減目標を採択しました。基準年の排出物の再計算を引き起こす、排出物の重大な変更を TI が実施したことはありません。排出係数と地球温暖化係数 (GWP) に関して TI が使用してきた出典は、米国環境保護庁の GHG MRR Final Rule (最終法令) です。スコープ 1 排出物に関するすべての計算は、米国 EPA の MRR または IPCC Tier 2 (気候変動に関する政府間パネルの階層 2) のどちらかを使用しています。
305-2	エネルギーによる間接的な (スコープ 2) GHG 排出量	See Indirect (scope 2) <a href="#">emissions (total) (英語)</a> をご覧ください。TI は、2015 年をベースラインとし、2020 年をターゲットとした GHG の削減目標を採択しました。基準年の排出物の再計算を引き起こす、排出物の重大な変更を TI が実施したことはありません。排出係数と地球温暖化係数 (GWP) に関して TI が使用してきた出典は、米国環境保護庁の GHG MRR Final Rule (最終法令) です。スコープ 2 排出物に関するすべての計算は、米国 EPA の MRR または IPCC Tier 2 (気候変動に関する政府間パネルの階層 2) のどちらかを使用しています。
305-4	GHG 排出原単位	<a href="#">GHG emissions per chip (英語)</a> をご覧ください。この比率は、スコープ 1 とスコープ 2 両方の排出物を使用して計算したものです。分子として、二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )、メタン (CH <sub>4</sub> )、二酸化窒素 (N <sub>2</sub> O)、パーフルオロカーボン (PFC)、六フッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )、三フッ化窒素 (NF <sub>3</sub> ) を使用し、TI が製造したチップの数を分母として使用しています。次に、2005 を 1 とし、この比率を正規化した値として報告します。
305-5	温室効果ガス (GHG) 排出量の削減量	TI が計算の基準として設定した年である 2015 年に比べて、スコープ 1 とスコープ 2 に該当する TI の排出物は 9,974 MTCO <sub>2</sub> e (CO <sub>2</sub> 換算 100 万トン) 増加しました。計算に使用した気体は、二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )、メタン (CH <sub>4</sub> )、二酸化窒素 (N <sub>2</sub> O)、ハイドロフルオロカーボン (HFC)、PFC (パーフルオロカーボン)、六フッ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )、三フッ化窒素 (NF <sub>3</sub> ) です。使用した計算ツールは、米国 EPA の MRR または IPCC Tier 2 (気候変動に関する政府間パネルの階層 2) のどちらかです。
305-6	オゾン層破壊物質 (ODS) の排出量	TI が使用している唯一の ODS は、閉塞冷却ユニット内にあり、それらのユニットは製品寿命に達した段階で退役しているところです。TI は、CFC-11 (トリクロロフルオロメタン) の製造や輸出を行っていません。
305-7	窒素酸化物 (NOx)、硫黄酸化物 (SOx)、およびその他の重大な大気排出	TI の実績データで <a href="#">NOx (英語)</a> をご覧ください。TI は、硫黄酸化物 (SOx)、残留性有機汚染物質 (POP)、有害大気汚染物質 (HAP)、粒子状物質 (PM) に関する世界全体の集計を行っていません。



# スタンダード・コンテンツ索引

## 排水および廃棄物

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Water and wastewater (英語)</a> をご覧ください。
306-1	水質および排出先ごとの排水量	TI の廃水の排出データの詳細については、 <a href="#">Wastewater discharge (英語)</a> をご覧ください。
306-2	種類別および処分方法別の廃棄物の重量	TI の廃棄物の種類の詳細については、 <a href="#">Waste types (英語)</a> をご覧ください。
306-3	著しい漏出	2017 年に著しい漏出は何も発生しませんでした。
306-4	有害廃棄物の輸送	2017 年、TI はどの有害廃棄物も国外に輸送しませんでした。

## 環境関連法令順守

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Environment, safety and health (英語)</a> をご覧ください。
307-1	環境関係法令への違反	TI は 2017 年に著しい罰金や制裁金 (25,000 ドル超過) を課されませんでした。

## サプライヤーの環境評価

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Supply chain management (英語)</a> をご覧ください。
308-2	サプライチェーンにおけるマイナス環境影響と講じた措置	TI は世界各国で合計数千社のサプライヤーと協力して事業を遂行しており、責任ある環境実績に関する TI の期待を伝達しています。TI はこれらの基準や、RBA (Responsible Business Alliance、責任ある事業同盟という業界団体) の Code of Conduct (行動規範) が制定した他の基準、また TI 独自の方針と規格に基づいて、戦略的なサプライヤーやハイリスクのサプライヤーを評価しています。2017 年に、TI は 300 箇所以上のサプライヤー事業所を評価し、環境に対する著しいマイナスの影響や懸念事項は見つかりませんでした。その結果、どのサプライヤーとの取引関係も打ち切りませんでした。

# スタンダード・コンテンツ索引

雇用		
指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Our employees (英語)</a> をご覧ください。
401-1	従業員の新規雇用者と離職者の数 (年齢、地域、性別による内訳)	TI は 2017 年に (インターンを除き) 2,635 人の従業員を雇用しました。離職者の詳細については、 <a href="#">こちら</a> をご覧ください。性別ごと、年齢ごとの雇用率は、秘密情報とみなしています。
401-2	派遣社員とアルバイト従業員には支給せず、正社員に支給する給付	TI の米国正社員と代替勤務スケジュールで勤務する従業員 (週 20 ~ 39 時間) のどちらにも、医療、処方薬、歯科、眼科、従業員援助、所得補償を含む、すべての給付の受給資格があります。週 20 時間未満の勤務スケジュールで勤務する、臨時雇用やパートタイムの従業員は、給付の受給資格がありません。
401-3	出産・育児休暇	TI は、出産休暇、父親の育児休暇、養子縁組休暇を有給で認めています。出産・育児休暇後の復職率と定着率については、追跡していません。
401-4*	TI の従業員の平均勤務年数	10 年未満: 49.4% 10 ~ 20 年: 25.5% 20 年以上: 25.1%

労使関係		
指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Our employees (英語)</a> をご覧ください。
402-1	業務上の変更を実施する場合の最低通知期間	米国の TI では、シフト変更については少なくとも 1 週間前までに、人員整理 (または解雇予告手当) については少なくとも 60 日前までに通知を行っています。米国外の TI では、地域の労働法に従っています。

労働安全衛生		
指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Employee health and safety (英語)</a> をご覧ください。
403-1	正式な労使合同安全衛生委員会に代表を送る母体となっている労働者	TI のすべての製造拠点には正式な環境、安全、健康 (ESH) 委員会が設置されています。これらの委員会は製造部門のマネージャ、ESH スペシャリスト、従業員の代表で構成されています。

# スタンダード・コンテンツ索引

## 労働安全衛生 (続き)

指標	項目	場所
403-2	傷害の種類と、傷害・業務上疾病・休業日数・欠勤の比率および業務上の死亡者数	TIは、業務上の怪我や病気による従業員の欠勤をモニターしています。2017年、TIの欠勤の比率は2.26でした。業務に関連した死亡事故は発生しませんでした。TIの安全性のデータに関する詳細については、 <a href="#">こちら</a> をご覧ください。
403-3	業務関連の事故や疾病発症のリスクが高い労働者数	TIには、事故率や特定疾病発症率の高い業務活動に従事する作業員はいません。TIでは、作業場でのあらゆる化学物質への暴露を最小限に抑え、作業員の健康に悪影響を及ぼさないようにする、非常に強力な産業向け衛生管理プログラムを採用しています。

## トレーニングおよび教育

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TIのマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Development (英語)</a> をご覧ください。
404-1	従業員1人あたりの年間平均トレーニング時間	全世界で従業員に平均36.6時間のトレーニングを実施しました。
404-2	従業員のスキル向上と移行支援のプログラム	従業員は、各自のキャリアの過程で、多様な能力開発の機会を活用できます。
404-3	業績とキャリア開発について定期的評価を受けている従業員の比率	TIの多くの部門は、上司と部下の間での会話を奨励したり、オンライン・リソースへのアクセスを提供する代わりに、従業員の関与、目標設定、会社の優先順位とのすり合わせを通じて、より大きな成功を遂げています。TIは定期的に、従業員が自身の目標とマネージャの期待内容を理解しているか調査しています。従業員と上司が合意した場合、より高い頻度で評価を実施することもできます。TIは、従業員が独自の能力開発計画を立案することを支援しています。業績に関する評価を受けている従業員の数は記録していません。

## 多様性と機会均等

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TIのマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Diversity and inclusion (英語)</a> と <a href="#">Pay and benefits (英語)</a> をご覧ください。
405-1	ガバナンス組織と従業員の多様性	会社のガバナンスと従業員の多様性に関するデータは、 <a href="#">Corporate governance (英語)</a> と <a href="#">Employee diversity (英語)</a> をご覧ください。

# スタンダード・コンテンツ索引

## 多様性と機会均等 (続き)

指標	項目	場所
405-2	女性の基本給と報酬総額の対男性比	TIは従業員に対して公正に報酬を支払っていると確信しています。TIは、性別、人種、民族など保護される特徴に関係なく、競争力を高め、公正に報酬を支払う方針で長期的に取り組んできました。TIは報酬の仕組みに、毎年行われる詳細な分析を含めたチェック/バランスの仕組みを作り、確実に実行しています。TIは個別の報酬分析を実施し、(基本給、賞与、公正を含めた)性別ごとの支払いの同等性を検討しました。この分析の結果、米国内では性別ごとの支払いの同等性を100%達成したことを確認できました。事実、米国(TIの従業員総数のうち約70%を形成)を含め、人員の多い3つの国では、同じ分析を実施したところ、女性は男性と同等の報酬を支払われていることが明らかになりました。賃金の公平性に関するゴールの詳細は、 <a href="#">Pay and benefits (英語)</a> に掲載されています。

## 非差別

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TIのマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Diversity and inclusion (英語)</a> をご覧ください。
406-1	差別事例の件数と実施した是正措置	内部レビューと対策のために差別の申し立てを記録していますが、この種の情報は極秘情報であると考えているため、現在、公式の報告は行っていません。差別に関するすべての問い合わせを解決できるよう取り組んでいます。

## セキュリティ

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TIのマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Ethics (英語)</a> をご覧ください。
410-1	人権の方針や手順について研修を受けたセキュリティ担当者	TIの組織であるワールドワイド・プロテクティブ・サービスには、安全で互いを尊重できる職場環境を全世界で保持するための標準的な手順があります。これには、エシックス、コンプライアンス、人権などの内容を含む対象のトレーニングを、セキュリティ要員全員に実施することが含まれています。

## 人権評価

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TIのマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Human rights (英語)</a> をご覧ください。
412-1	人権レビューや影響評価に関する業務	TIは、RBA (Responsible Business Alliance、責任ある事業同盟という業界団体、以前の呼称は EICC) が検証した監査プロセスの一部として、人権に関する2つの事業の監査を実施しました。RBAの自己評価ツールを使用する世界中の製造拠点すべてを評価しました。

# スタンダード・コンテンツ索引

## 人権評価 (続き)

指標	項目	場所
412-2	人権の方針や手順についての従業員トレーニング	すべての従業員は、TI の価値とエシックスに関するトレーニングとガイダンスを受けます。特に、これらは職場における誠実さと敬意に関係するからです。2017 年に、行動規範の啓発トレーニングを実施しました。これは人権を扱うもので、世界各国の全従業員にとって必須でした。

## 地域コミュニティ

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Enriching our communities (英語)</a> をご覧ください。
413-1	地域コミュニティとの関係、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施した事業の数	TI はすべての拠点で環境に及ぼす影響の評価を実施し、その結果、水、大気、生物多様性に関して現在までに悪影響を及ぼしていないことが明らかになりました。TI の各拠点では、コミュニティのリーダーと関わり、地元のニーズを見つけ、企業活動、基金、従業員の寄付に加え、ボランティア派遣を通じてコミュニティを支援する活動を行っています (コミュニティに対する TI の投資については、 <a href="#">Giving (英語)</a> と <a href="#">Volunteerism (英語)</a> をご覧ください)。TI は、コミュニティへの影響に関する正式な評価を実施していません。TI の拠点は既存の工業地帯に立地しており、少ない人口に対して悪影響を及ぼすことがないからです。TI は、近隣の住民が TI にコンタクトし、疑問や懸念を伝えることができるよう、多くの手段を提供しています ( <a href="#">Stakeholder engagement (英語)</a> をご覧ください)。
413-2	地域コミュニティに著しいマイナスの影響 (現実のもの、潜在的なもの) を及ぼす業務	2016 年に、TI はスコットランドのグリーンノックにある GFAB 製造拠点の閉鎖を開始するための手順を実施していることを発表しました。よりコスト効率の優れたドイツおよび米国の拠点に業務を転移することが目的です。このプロセスは 2019 年中ごろまでに完了するように延期されました。適切な買い手を見つけることができない場合、約 300 の TI の職位は解雇または移転による影響を受けることになります。

## サプライヤーの社会評価

指標	項目	場所
103-1 ~ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、 <a href="#">Supply chain management (英語)</a> をご覧ください。
414-1	社会的基準をもとに選定した新規サプライヤーの比率	TI にとって重要なサプライヤーの場合、TI は社会的、環境的基準をもとに新しいサプライヤーの審査を正式に実施します。新しいサプライヤーは TI の全体的な支出のうちごくわずかな部分を形成するに過ぎず、現時点で正式なトラッキング・プロセスを実施していません。